

2023年4月入学岡山大学大学院社会文化科学研究科博士前期課程【2月募集】入学試験問題

講座（学修分野）	国際比較経済、経済理論・統計、政策科学、経営学、（グローバル経営・経済）
専門科目	マクロ経済学

以下の問1、問2の両方に解答しなさい。なお、問1は解答用紙の第1ページと第2ページに解答し、問2は解答用紙の第3ページと第4ページに解答しなさい。

問1

(1) 政府が存在しない開放経済を想定し、国民所得 (Y) が消費 (C)・投資 (I)・輸出 (E)・輸入 (M) からなるマクロ経済モデルを考える。

(i) このときの国民所得均衡式（国民生産物市場均衡式）を示しなさい。

(ii) いま、平均消費性向は0.7、平均輸入性向は0.1であり、投資・輸出は外生的に与えられるものとする。投資が150兆円であるとすれば、この経済における貿易収支が均衡するためにはいくらの輸出がなされなければならないか？

(iii) いま、限界消費性向は0.7、限界輸入性向は0.1であり、貿易収支が均衡しているものとする。貿易収支を均衡させながら国民所得を増大させるには、投資の増加と輸出の増加はどのような比率でなければならないか？なお、解答に当たって、答の導出の過程を詳細に記述すること。

(2) 1980年代には日米貿易摩擦が国際的な問題になるなど、以前は日本の貿易収支は黒字が続いていたが、2022年8月には貿易赤字が過去最大の2兆8,173億円になるなど、昨今では貿易赤字が続いている。このような変化が生じた理由について3点挙げ、それぞれについて詳細に説明せよ。なお、解答に当たって、昨年為替レートが円安傾向になったことの影響についても言及すること。

問2

(1) ある経済において、就業者と失業者の合計として定義される労働力人口は一定で、非労働力人口は存在しないとする。このとき、以下の各問に答えなさい。

(1) 離職率を  $s$ 、就職率を  $f$  とすると、自然失業率  $u$  は、

$$u = \frac{s}{s+f}$$

と示されることを説明しなさい。ただし、説明の過程で記号を新しく用いる場合は、その定義を明記すること。

(2) 労働力人口は800万人、1ヶ月の離職率は5%、平均失業期間は5ヶ月であるとする。このとき、自然失業率を求めなさい。

(3) 自然失業率を引き下げるためには何を実現する政策を行う必要があると考えられるか、説明しなさい。

以上